

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

昨年大きな出来事の一つに、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行がございました。

ユニバーサルデザインフードは「物性に配慮した一般の食品」という立場ですが、業務用では病院や介護施設の給食で広く活用されており、このような意味では医療や医療に近い分野で取り扱われる機会が多いことが特徴の食品です。このため、ユニバーサルデザインフードの情報をお伝えしたい方々は、医師や歯科医師をはじめ、看護師やSTなどのセラピスト、管理栄養士・栄養士などの医療や介護関連に従事される専門職種が中心となります。

これら職種の方々に対して、私たち食品メーカーがユニバーサルデザインフードの情報をお伝えする手段は、専門のWebサイトや情報誌などがございますが、学会や専門の展示会などにて手渡しでの製品サンプリングや資料配布による情報提供機会を設けることは、効率面での課題はあるものの、やはり大きな役割を持っていると考えております。

一方で、このコロナ禍中においては、我々が情報を積極的にお届けしたい方々はエッセンシャルワーカーとして日々大変なご苦労をされており、感染を避けるために外出を控えなければならない職種の皆様であり、この数年来大変歯がゆい思いをしてまいりました。

昨年5月以降、これら専門職種が参加する学会展示会の来場者数は、ようやくもとへ戻りつつある実感が持てるようになってまいりました。本会といたしましては、ユニバーサルデザインフードをユーザーの皆様に見ていただき、試食していただくことが、各製品の特性を直接知っていただく上で必要かつ重要な機会であることを、この体験を通じて再認識いたしましたところ です。

さて、本会では、例年6月に前年のユニバーサルデザインフード生産統計を公表しておりますが、「UDF（ユニバーサルデザインフード）生産額507億円」の見出しで関係者各位へ集計した資料を

公表いたしました。2022年の前年対比は、生産量95.5%、生産額96.8%とそれぞれ減少しましたが、市販用のうちレトルト製品をみると、前年対比は111.1%（生産量ベース）と、これは前年に引き続き好調でした。また、業務用では冷凍品が7割近くを占めていますが、前年対比119.1%（同）とこちらも前回に引き続き増加いたしました。

本会では、日頃の普及活動を通じてユニバーサルデザインフードをより多くのお客様にお知らせしながら、安心して日常の食生活の中でご利用いただけるよう、会員企業とともに一層の努力を行ってまいります。

最後になりましたが、関係各位へは益々のご支援ご協力をお願いするとともに、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2024年元旦

日本介護食品協議会
会長 森 佳光

【会議、催事等の予定】

1月15日（月） 第6回普及委員会

1月17日（水） 第4回業務用WG

【UDF 商品登録状況（2,253品目・11月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	14	8	7	77	4	110
冷凍食品	339	279	787	30	0	0	1,435
常温食品	250	54	237	165	2	0	708
合計	589	347	1,032	202	79	4	2,253

【会員の異動（11月）】

計95社（11月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>